

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

校区名		開催日時・場所	参加者数	
北条小学校区		7月10日(火) 18:00 ~ 20:30 地域交流センター多目的ホール	1部:21人 2部:29人 合計:50名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	認定こども園について、北条西保育所と北条幼稚園はどうなっていくのか。	市参事	具体的な話はまだ決まっていない。予算の問題上、民間も視野に入れて検討しています。
2	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	市内に幼稚園があるが、これは直営で運営されている。北条東幼稚園と北条南保育所は民間を検討されている。なぜか。	市参事	新たに建築するとなると予算がいるので、民間活力も使いたい。教育という面では、民間であっても国が定めた指針で教育をおこなってもらうので、民間を選定していきたい。予算的に民間にお願いしたいと考えている。
3	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	民間であれば、小学校との連携は取れていけるのか。指導はされていくのか。	市参事	民間であっても、小学校との連携は当然。一貫教育を実施していく。
4	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	三井住友銀行から街中を通っていく通学ルートがある。朝の出勤時にスピードを出す車がある。警察と連携して、注意喚起できないか。	教育長	南町からのルート、栗田、大日堂のあたりは交通量が多いと聞いている。以前、小学校の半径500m以内をスクールゾーンに設定できる制度があるが、住民生活に支障が出るので、難しい。保護者や見守隊の協力で対応していきたい。

5	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	中学校側の川べりから入ってくる子どものルートで、溝の蓋が取れていて危険。対応できないか。	ふるさと創造部長	この度の300万の予算は、通学路に関して支出する予算となりますので、そこが生活道路であったとしても、修繕は可能なので、危険箇所としてあげていただきたい。
6	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	北条中学校の自転車通学について、学校側と話し合いができない。自転車通学のことに関して議論する場を設けて欲しい。	教育長	富田地区でも同じ話があった。交通量の多い場所の横断があるので、その安全確保が問題となっているのではないかと。学校側が慎重になっているのではないかと。
7	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	実際、まったく話の場をもってくれない。保護者の方へのアンケートを実施するのも反対された。	教育長	過去もアンケートを実施したことがあると思う。自転車置き場もあるし、部活では自転車で来ている。話し合いの場を設けないという話であれば、教委も指導していきます。
8	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条小学校の体育館の雨漏りが長年放置されている。体育館シューズを履いて行う競技は危険。対応してほしい。	教育長	体育館建設当時から修繕していた。構造上の問題。旧の講堂の屋根を残して欲しいとの要望から屋根にある。
9	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	各小中学校の体育館にAEDを設置してほしい。職員室だけにあるのは不安。		要望と聞かさせていただきます。
10	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	遊ぶところが無い。小野のひまわり公園まで行く。加東市の職場でも、加西市では遊ぶところが無いと言われる。小さい公園はあるが、大きい遊具ある公園や屋内施設があればいいと良く聞く。	市長	意見が多く出されている事例であって、前向きに考えないといけないと思っている。
11	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	北条高校のこと。現状をなんとかしてもらえないか。	市長	活性化協議会を開き、中学校の校長やPTAも参加して議論を始めている。北条高校の校長について、県に要望を出した。

12	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	健全育成会とは何をしているのかわからない。各団体、もっと透明性を持ってないか。	市長	市民の方は、いろんな会議に参加されたり参画されたりしている。いろいろ合って、困惑されることがあると思う。同じ行動をしていく時期かなと考えている。スリム化を図る必要があると認識をしている。
第2部				
13	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	地域を活性化させようという思いはすばらしいと思う。しかし、若い方は、地域の付き合いの無い町を希望して土地等を探している。現状を思いが乖離しているのではないか。北条以外ではかなり厳しいのではないか。	ふるさと創造課長	ふるさと創造会議は、密度の濃い付き合いをするものではなく、お互いに知恵知識を発揮する場にしたい。
14	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	昨年の災害のときに、要望したが回答が無い。	ふるさと創造部長	災害の件については、フォローできていないので、土木課に確認し回答する。
15	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	外灯のLED化を進めて欲しい。	ふるさと創造部長	LEDに変更を進めているが、防水対応のLEDはまだ購入費が高い。電気代は下がるがコストが高いので、時間をいただきたい。
16	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	県道三木穴栗線の進捗状況は。	副市長	丸山バイパスが優先となっている。この場所以外は、未定。
17	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	市道栗田西谷線の進捗状況は。	副市長	市村西谷線が完成してのち検討する。
18	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	丸山バイパスの開通に向けて、用地交渉に副市長も参加してほしい。	副市長	善処します。
19	健全な行財政運営の確立	通学路の3,300万の補正予算はばら撒きでは無いか。	市長	これは、通学路を地域のみなさんが確認して検討して作業をしていくことが大事であって、ばら撒きではない。

20	健全な行財政運営の 確立	上下水道料金を下げる必要があるのではないか。	市長	下水については、まだ高いが、上水については、近隣であれば加東市とほぼ同じ水準。マニフェストは20%を掲げているので、その実現に向けて努力していく。さらなるPRを進めていく。
21	健全な行財政運営の 確立	借金を返すほうが先ではないか。	市長	確実に減っていっています。行財政プランに従って、さらに借金を減らしていきます。
22	郷土に誇りを持てる家 庭・学校・地域の輪づ くり	通学路のチェックは、どうやって報告を上げていくのか。	ふるさと創 造部長	学校へ要望があった箇所、土木課把握の箇所、危機管理課把握の箇所を一覧にして代表区長へお渡ししている。そこから各町区長さんへ書類が渡っていく。市へは、7月末までに土木課へ提出。その後、箇所の確認をして実施していく。
23	身近な幸せを実感で きる安全と安心の暮ら しづくり	浸水した箇所について、きちんと確認する必要があるのか。	市長	市内全域、北条も含め、きちんと対応していく。
24	健全な行財政運営の 確立	タウンミーティングにもっと幹部が揃わないといけない。	市長	このスタイルを変える予定はない。これまでのミーティングを経て、市長だけでいいと思っている。